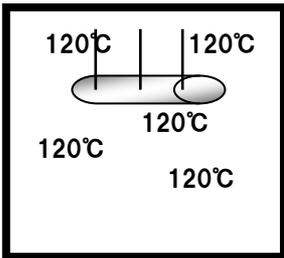




エコム社員が語る今月のコラム

皆さん今日は！営業部です。私、エコムでは営業部にて、熱設備全般の営業を担当しています。そんな私の趣味は、ゴルフ。特に夏前の今のシーズンはゴルフをするには絶好の気候です。えっ、そんな私のスコアですか？まあ、120を超えないようがんばりたいところですが、ゴルフはスコアよりも雰囲気大切なんです！ゴルフ場へ行くまでのプロセス、そしてカートでコースを回るプロセス、さらに昼ご飯、そんなプロセスが私は楽しいんです！ぜひゴルフ好きな方、私にお声かけください！それでは今月の熱技術ニュースです！

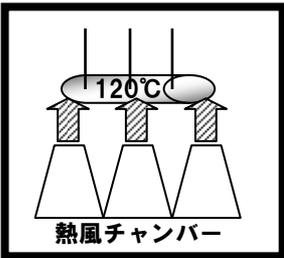
特殊材料の熱処理ならエコムにお任せ！「MCナイロン編」



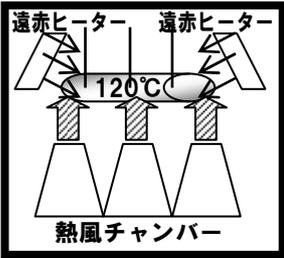
MCナイロンの熱処理、30分かかっていた熱処理時間を3分に短縮！
MCナイロンのワークに対し、芯金への焼きばめを行なうための加熱です。従来は霧囲気炉によって30分かけて120°Cへの加熱を行なっていました。しかし、これを熱風炉に変更することで、約1/3の時間短縮が可能となり、10分で所定の温度にすることができます。

さらに、この熱風チャンバーに遠赤外線ヒーターを加えることで、さらに1/3以下の時間短縮が可能になり、加熱時間は3分となります。つまり、当初30分かかっていた熱処理が3分に短縮され、何と1/10の時間短縮が可能になるのです。また、遠赤外線ヒーターとの併用により設備そのものもコンパクト化することができます。

特殊材料への熱処理、さらに時間短縮のご相談はエコムにどうぞ！



熱風炉：処理時間10分



熱風+遠赤炉：処理時間3分



ワーク：MCナイロン

遠赤外線アニール炉

MCナイロンの最適条件を探りたい！そんなニーズがあるお客様は、エコム熱処理ワークテストセンターまでご依頼ください！！

熱処理ワークテスト職人の語り

「ずいぶんデカイワークだな！」鈴木マイスターの声が、エコムの熱処理ワークテストセンターに響く。このワークの依頼主は、いかに早く(=時短)、いかに均一に(=均熱)熱処理を行なうのか、いわば最適条件を探るためにエコムにテストを依頼してこられたのだ。熱分布を拾うためにセンサーを取り付ける鈴木マイスター。手馴れたその仕事はプロの仕事だ。「難しいワークこそ私の喜びです」と語る鈴木マイスター。さあ、次回のワークは何だ？(次回に続く)

無料！「排ガス測定診断」で省エネに取り組みませんか？



排ガス測定機を両手にファイティングポーズをとる水江氏

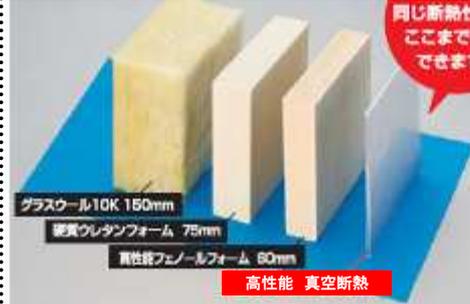
バーナーの排気ガスを測定・分析することで、バーナーの省エネができることをご存知ですか？
排気ガスの空気量、一酸化炭素の量を測定機器で分析することにより、バーナーへの燃料投入量、空気投入量が適切かどうかわかります。こうしたバーナーの燃焼条件を最適化することにより、燃料節減、ひいては省エネにつながります。一度、プロによる排ガス測定診断、試してみませんか？



排ガス測定の様子

80°Cの外壁を常温に！厚さ6mm高性能断熱材

真空断熱パネルは従来の断熱材の10~25倍の断熱性能を持ちながら、かつ厚さは1/10~1/20の薄さを実現。真空断熱とは断熱内部を真空とすることで、気体による熱伝導をゼロに近づけるといふもので、現在用途開発中です。



断熱材をうまく活用することで、熱設備は大幅な省エネを実現することができます。しかも本素材は省スペースも両立できます。本商品へのお問い合わせはエコムまで！



こんな大型ワークも均一な熱分布を実現・検証！



テスト炉で遠赤外線ヒーターの調整を急遽に実施する鈴木マイスター